

各 位

平成 19 年 12 月 27 日
近畿日本ツーリスト株式会社
総務・広報部 担当：佐藤
(TEL : 03 - 3257 - 1661)

旅行取扱状況の概観（平成 19 年 11 月分）

海外団体旅行では、学生団体は取り扱い好調を継続し、一般団体も大型団体の取り扱いで前年実績を上回ったため、合計では大きく前年実績を超え 7 ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。海外企画旅行は、ホリデイが相変わらずの低調で前年を下回り 8 ヶ月連続の前年比マイナスと低迷。海外個人旅行は、海外航空券、その他クーポンの取り扱い好調により、4 ヶ月連続の前年比プラスと好調に推移した。海外旅行合計は、企画旅行は低調であったが、団体旅行の好調、個人旅行の堅調により、前年比 102.5%と 7 ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。

国内団体旅行では、一般団体は取り扱いの減少により前年実績を下回り、学生団体も取り扱いが鈍化し前年実績に届かず、合計では 7 ヶ月ぶりの前年比マイナスと落ち込んだ。国内企画旅行は、メイトが回復し前年実績を超え、その他企画も好調で、合計では前年実績を上回り堅調な取り扱いであった。国内個人旅行では、航空券、宿泊券の取り扱い増加し、合計で前年実績を上回り 6 ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。国内旅行合計は、企画旅行、個人旅行は堅調であったが、団体旅行の低調が響き、前年比 99.2%と前年実績には届かなかった。

外国人旅行は、団体のイベント取り扱い、個人のクーポン取り扱いが共に好調で、前年比 171.4%と 5 ヶ月連続の前年比プラスと好調を継続した。

この結果、11月の総取扱額は前年比 101.6%と前年実績を上回る結果で終わった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は大型団体の取り扱いにより前年実績を上回り、学生団体も修学旅行の取り扱いが好調で、前年実績を大きく上回った。団体の方面別取り扱いでは、近場の香港、シンガポールとロングポーシヨンのヨーロッパ、アメリカが好調であった。

(2) 企画旅行

ホリデイの取扱いは、取扱額前年比 92.7%、取扱人数前年比 86.7%と共に前年実績を下回り、取扱額は 8 ヶ月連続の前年比マイナスと不振から抜け出せない。ホリデイの方面別取り扱いでは、近場の韓国、台湾、が目立った程度であった。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の取扱いは好調であったが、その他団体の取り扱いが減少し、前月に続いての前年比マイナス。学生団体も修学旅行、修学旅行外の取り扱いが共に伸び悩み、前年実績に達しなかった。

(2) 企画旅行

メイトは、取扱額で前年比 100.9%、取扱人数で前年比 96.6%と、取扱人数は前年を下回ったが売上高では前年実績をオーバーした。商品別の状況では、北海道、九州、東京地区商品は前年を超えたが、沖縄商品、近場商品が前年実績に届かなかった。

(以 上)